

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 21 日現在

機関番号：11501

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2014～2016

課題番号：26870197

研究課題名(和文) 父親の社会階層と青年期から成人期へ移行する父子関係 中国山西省における実証的研究

研究課題名(英文) Father's Social Class and Father-Child Relationship from Adolescence to Early Adulthood: A Case of China's Shan Xi Province

研究代表者

劉楠(LIU, Nan)

山形大学・男女共同参画推進室・助教

研究者番号：00713744

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、青年期から成人期になった子どもを対象に、父親の社会階層が子どもの進路選択または就職にどのような影響を与えているかを明らかにするために、同じ対象者に5年後追跡調査(インタビューと質問紙調査)を実施した。縦断的研究から子どもの進路形成(高校から大学への移行、高校から職業への移行)について、父親の社会階層と所属高校からの影響を明らかにした。本研究で得た知見により、教育格差が生み出す原因が家庭と学校にあることを解明することで、発展途上にある中国における教育機会の平等の実現ならびに、人材の選抜・配分の危機を乗り越えるための具体的かつ有効な教育政策への提言が可能である。

研究成果の概要(英文)：Research through questionnaire surveys and in-depth interviews were conducted on children to understand the father-child relationship from the child's adolescence to adulthood in China so that the extent of influence on the child's career selection (for example, did the child find a job or did he/she continue with college education) and its relationships with the father's social class can be examined. Major findings indicate that father's social class and high school to which the child belonged to is positively related to the child's career selection. The findings of this research are expected to contribute to provide fair educational opportunities to all; further, it can also help in overcoming the crisis of selection and distribution of talented people and help in making concrete and effective suggestions for equal education in China.

研究分野：社会学

キーワード：父親の社会階層 青年期から成人期への移行 中国都市と農村の教育格差 家庭の文化環境 高校卒業後の進路 縦断的調査 教育投資 父親の養育行動

1. 研究開始当初の背景

申請者はこれまで博士論文で、量的データから、山西省の父親は家庭教育における子どもの教育を重視する傾向を明らかにし、商人である父親の教育偏重の伝統について考察した。伝統的な商業地域であった山西省の特殊性があるからこそ、家族に焦点を当て、父親の職業に着目するという研究目的を検証するに適した地域といえる。本研究は、山西省の家族に限定し、5年経過後の追跡調査を行ったものである。

(1) 社会・学術的背景

改革開放の始まりとその深化により、経済の発展とともに経済的階層の格差が拡大しつつあった。そこで、1999年から中国社会科学院社会学研究所で社会階層に関する研究が始まった。陸学芸らの調査では、膨大な調査データを集め分析し現代中国の職業階層が10のカテゴリーに分類されている(陸,2002)。各階層の分布状況からそれぞれの職業がピラミッド状の分布になっており、中国の多元的な社会階層が明らかにされた。また、農村部、都市部内部にも所得格差が大きい(佐藤,2003)。

(2) 世代間の階層伝達

中国では、社会階層の格差を背景に、大学進学か就職かという進路選択は、子ども自身の意思によるものだけではなく、父親の社会階層(収入・学歴・職業威信)に大きく左右されている(陸,2002)。親世代から子ども世代への階層伝達の関連が強く、下層の職業階層において、世代間伝達に下向きの作用があった。すなわち、農村戸籍を持つ農民の子どもは農民になる可能性が高く、さらに親の社会階層を下回るということが分かった。一方で、都市戸籍の住民にはこのような傾向は見られなかった。そのため、農村戸籍の住民が、教育を受けることと都市戸籍へと転換することが、次世代の階層の下降を防ぐ有効な手段であるとされている(呉,2007)。

これまで、中国の教育格差に関する研究では、同じ対象者に焦点を当て縦断的に追跡調査する研究が少なかった。そのため、高校在学者の卒業後の進学・就職状況と父親の影響について追跡調査を行おうと考えた。

2. 研究の目的

WAVE1(2009/2010年)の高校2年生を追跡し、5年後、WAVE2(2015/2016年)高校を卒業した子どもは、大学に進学したのか、それとも就職を選んだのかという進路を決める際、父親からどのような影響を受けたのかを明らかにすることを目的としている。

父親の社会階層が子どもに伝達されるのか、伝達されるとすれば、そのプロセスを明らかにすることを目的とする。具体的には、父親の職業、学歴、収入、趣味などによって、父親の養育行動、家庭の文化環境、親の考え

る子どもの価値や期待に差異があるのか、さらに、父親の子どもへの教育投資、子どもの進路選択と経済・情緒・生活の自立にどのような影響が生じるのかを明らかにする。

3. 研究の方法

(1) 2014年度

インタビュー調査では、父親と子ども15名(合計30名、ペアデータではない)を対象にそれぞれ半構造化インタビューが行われた。調査期間は2014年から2015年である。

(2) 2015~2016年度

追跡質問紙調査では、把握している対象者をリストに基づき電話またはメールで対象者一人ひとりと連絡を取り、主旨を説明したうえで訪問面接を行うという、プライバシー保護に配慮した方法でデータ収集し、山西省の都市部と農村部の高校卒業生710名に連絡をとって見たが、電話番号の変更または転居で追跡ができないケースと、追跡できたが調査拒否のケースにより、最終的に調査の承諾を得て質問紙の回収ができたのは子ども88名、父親81名(合計169名)であった。回収率は12.4%であった。調査期間は2016年2月から4月である。

4. 研究成果

(1) インタビュー調査の結果と考察

父親が子どもに対する学校外教育投資
本研究では、学校選択、塾、付き添い勉強、習い事の4点から以下の概念を抽出し、生成することができた。選校、補習、付き添い勉強の3点は、成績を重視した投資であり、後者の習い事は才能を伸ばす投資項目であった。ここでいう教育投資とは、子どもが幼い頃に、勉強(知識を身につける)や習い事(潜在的能力を掘り起こす)を通して、子どもの発達段階において自己意識に自信を持たせることを目指し、様々な方法を試みることである。

教育投資に影響する要素

影響要素においては、父親の教育歴および趣味等いわゆる文化資本、収入等の経済資本、父親自身の経験、父親の職業と子どもの性別を取り上げ、分析を行った。

a. 父親の収入、学歴

父親の収入と学歴が、直接子どもの進路に影響するというよりも、父親の趣味やコミュニケーションを通して、子どもは進路を導き出していることを示唆する。教育投資は、ある種の社会風潮に影響されていることについては否定できない。しかしながら、個々人の父親は我が子との間に葛藤が生じた場合、双方が納得するまで調整したり、または片方が妥協点を見出したりすることで、投資行為が成立するものと捉えている。

b. 父親の実体験

対象者自身が教育を受ける機会に恵まれたため、「知識は運命を変える」と信じる父親がいる一方、現実の壁にぶつかり、子ども世代と自分たちの世代の社会状況が変化していると認識し、能力や学歴よりも、潤沢な資産・権力を持つ父親がそばにいたほうが現実的と語る父親もいた。父親の教育に対する価値観が多様化していることを示唆する。

c. 父親の職業階層

父親の職業階層からの影響について、父親の趣味習慣、職業による生活リズム、職業観なども、日常において子どもに伝わり、子どもの職業観の確立およびその後の職業選択に影響すると推察される。

d. 子どもの性別

男子には社会的実践を、女子には教師になることを期待する。子どもの性別（男女）によって、期待する職業が異なることが明らかになった。

(2) 質問紙調査の結果と考察

インタビュー調査の結果を踏まえて、山西省の都市部と農村部の高校卒業生 710 名を対象に追跡質問紙調査を 2016 年 2 月から 4 月に実施した。

質問項目は、子どもを対象に 自立状況（経済、情緒、生活面）、恋愛・結婚状況、家族とのコミュニケーション頻度、就職者には仕事満足度、在学者には在学中取得する資格や将来希望する分野、また、父親を対象に 父親の養育行動、生活満足度、夫婦関係、労働時間とワーク・ライフ・バランス、職業生活満足度、父親の考えている子どもの価値、父親の趣味、子どもとの居住距離、父親と配偶者の属性、父方祖父の職種と学歴などである。

子どもの仕事・進学状況

「就職者」対「在学者」は約 3 対 7 の割合で構成されている。

就職者（26 名）は勤続年数 1 年未満が最も多く、仕事内容・同僚とのコミュニケーション・上司とのコミュニケーションにおいて満足する回答が多い一方、労働時間、ワーク・ライフ・バランスなどについて満足してない現状が明らかになった。

在学者（62 名）のうち、まず「一級本科」は 18 名、また、「一級院校」の大学院に進学した人は 7 名、次に、「二級本科」の進学者は 18 名、また、「二級院校」の大学院に進学した人は 3 名、そして、「三級本科」の進学者は 5 名、そのほか、海外留学中は 1 名。今後の就職に向けて在学中取得した資格については、「CET4 級・6 級（英語）、パソコンスキル、免許証、党员」などが共通しているが、そのほか専門分野によって、「教師資格証、

通訳資格、会計士、証券資格、外国語能力認定試験（英語・日本語・韓国語）」などである。将来つきたい仕事の分野は、教育学習支援業、情報通信業、建設業、そのほかは法律・設計・会計士・文化メディア・経済・化学工業・外資系企業などである。

経済面・情緒面・生活面での自立

経済面での自立については、まず、在学した時授業料については、就職者も、在学者も、9 割近くが「ほとんど親、一部は自分」で負担したと回答した。次に、現在の暮らしにおいて衣服費、お小遣い、食費、家賃は、在職者の 7 割が「ほとんど自分、一部は親」および「全部自分」で負担している。在学者は、1 割が「ほとんど自分」および「全部自分」で負担しているものの、7 割近くが「ほとんど親、一部は自分」負担である。

情緒的自立、生活面での自立において、WAVE2（2015/2016 年）成人期の子どもは 5 年前の WAVE1（2009/2010 年）青年期よりやや高いことが明らかになった。

父親の社会階層

職種については、回答者のうち、政府機関の役員、企業・団体の正社員、臨時雇い、自営業者、農民、自営業者の家族従業者、内職、そのほかは株の運用、自由職業者、建築労働者、教育関係者であった。さらに、政府機関の役員について、回答者 16 名のうち、二級幹部は 1 名、三級幹部・省部級は 7 名、四級幹部・副省級は 4 名、五級幹部・司局級は 2 名。父親の政治身分については、共産党员 3 割弱、政党所属無は 7 割強。年収については、「1 万以上～5 万未満」はもっとも多く、次は「5 万以上～10 万未満」、「5 千以上～1 万未満」の順である。

年収の高い父親のほうが配偶者も年収が高く、年収の低い父親において配偶者の年収もやや低い傾向がみられた。すなわち、本研究の対象者である父親とその配偶者は、同類婚の傾向が強い。また、配偶者と比べ、父親は年収と役職においてやや高い。

祖父の職業と学歴

祖父の職業は、自営業関連（自営業者 4 名、家族従業者 37 名）が最も多い。学歴においては大学卒（三年制と四年制）が 4 名いるということが明らかになった。父親の平均年齢 50 歳から、祖父の年齢は 70 歳代～80 歳代（1937～1947 年生まれ）と推定する。新中国の建国後、就学歴がほぼ皆無という学歴が低い世代において、対象者の祖父は大学卒（三年制と四年制）が 4 名いるという非常に珍しいデータが入手できた。さらに「3 世代にわたる高学歴モデル」に追跡インタビューする必要がある。

子どもの進学先

子どもの進学先はどのようなランクの大

学になるか、それはどのような影響要因で左右されるかを検討した。

a. 父親の職業生活満足度

父親の職業生活満足度が示されたことが重要である。職業生活満足度は「労働時間」「仕事に割く時間と生活に割く時間のバランス」「現在の給与水準」「将来の年金水準」「現在の職業生活全般」で測定した。

父親の職業生活満足度が高いほうが、子どもは「一級本科」「二級本科」等ランクの高い大学に進学した結果が得られた。考察として、仕事と家庭生活のバランスが取れている職業生活満足度の高い父親は、子育てに余裕を持って関わることと、それが子どもの大学進学に良い影響を与えたと推察した。

b. 父親の養育行動

「口出ししてしまう」「自分の言うことに従うまで同じことを言う」「子どもに対しては何かにつけて小言を言う」という統制行動が多いほうが、子どもの進学先の大学は三級本科が多いという結果が得られた。子育てにおける父親の統制行動は、子どもの進学にネガティブな影響を与えることが明らかとなった。

c. 5年前の所属高校

WAVE1 (2009/2010年) 都市部在住(特に重点高校)に卒業した子どものほうが、農村部在住より進学先の大学は一級本科が多いことが明らかとなった。それは、教師の質と学校の教育設備に差が顕著であるからと推察できる。また、都市部重点高校には、一級本科に推薦入試がある一方、農村部の重点高校と普通高校にはそういった措置がなく、全員一律センター試験(筆記)によるものであった。考察として、地域と高校の間には、教育資源の不均衡のほか、推薦入試制度が限られている高校にしかないことが明らかになった。所属高校のランクと推薦入試の有無は、どのランクの大学に入れるかと直結することを示唆する。

(3) 結果のまとめ

本研究では、父親の社会階層が子どもに伝達されるのか、伝達されるとすれば、そのプロセスを明らかにするために、インタビューおよび追跡質問紙調査を実施した。その結果、高校卒業後子どもの状況を把握し、進学先に影響を及ぼす要因を明らかにすることができた。また、父親の教育投資の定義と影響要因についても検討できた。

本研究で明らかになった知見は以下の通りまとめることができる。

父親の職業階層は子どもに影響している。第一に、父親の職業生活リズム、職業観は日常において子どもに伝わり、子どもの職業観の確立及びその後の職業選択に影響する。第二に、仕事と家庭生活のバランスが取

れている職業生活満足度の高い父親は、子どもの大学進学に良い影響を与えた。

父親の教育投資について、父親は我が子との間に葛藤が生じた場合、双方が納得するまで調整したり、または片方が妥協点を見出したりすることで、投資行為が成立するものと捉える。

都市・農村の高校教育資源は不均衡のため、大学の進学先は所属高校に大きく左右される。都市部重点高校から推薦入試で一流の大学に進学ができる。

(4) 成果に対する意義

本研究成果の意義は以下の3点に集約される。

第一に、本研究は仕事と家庭生活のバランスが取れている職業生活満足度の高い父親は子どもの大学進学に良い影響を与えるという、中国の家族研究の結果であった。近年日本では政府をはじめとしてワーク・ライフ・バランス推進が行われているが、ライフ・イベント中の男女はともに仕事と家庭の両立は進んでいないのが現状である。女性の活躍推進と同時に、男性のワーク・ライフ・バランスと男性の働き方改革は、日中の共通課題である。

第二に、父親の職業階層が子どもの大学進学に及ぼす影響について、新たな知見を蓄積できたことである。

第三に、WAVE2 (2015/2016年) 追跡調査の結果はWAVE1 (2009/2010年) とデータを比較することにより、時系列で対象者の変化が明らかになった点である。

(5) 今後の展望、研究課題

今後の展望、研究課題は次の3点である。

10年後の追跡：父親の社会階層は、子どもの初職に大きく影響すると考えられる。これまで2010年WAVE1(高校生・平均16歳)、2016年WAVE2(大学生/就職者・平均22歳)調査を行ったが、子どもは高校卒10年後、WAVE3(就職者・推定27歳)大学卒業後の就職状況の追跡調査が必要である。

国際比較：本調査では中国父子を対象としたが、日本では階層格差が拡大しつつあるという背景から、日本の世代間階層伝達に関する研究が必要であるため、日中の国際比較が、今後の課題である。

貧困層への着目：本研究では5年後を追跡できた対象者が限られているため、経済的に中間層に偏ってしまったことには限界を感じる。農村部の留守児童の家族について、教育の現状をさらに解明する必要があると考えられる。

引用文献

陸学芸、当代中国社会階層研究報告、社会科学文献出版社、2002
佐藤宏、所得格差と貧困、名古屋大

学出版会、2003
吳曉剛、中国的戸籍制度与帯際職業流動(中国の戸籍制度と世代間職業の流動)、社会学研究、22、2007、38-65

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計6件)

劉楠、現代中国における「九〇後」子どもを持つ父親の学校外と学校選定への教育投資 定義と影響要因を中心に、生活科学研究、24、2017、印刷中、査読有。

劉楠、現代中国農村における「留守児童」問題に関する研究動向と課題 家族関係、子どもの教育とジェンダーを中心に、山形大学紀要(社会科学)、47(2)、2017、21-39、査読有。

劉楠、解析当下内閣政府育児支援政策 围绕放寬政策以及保育士不足問題、中日教育論壇、6、2016、69-75、査読有。

劉楠、潜在保育士の就業意向はどのように高められるか 年代と就業を中心に、47(1)、2016、19-33、査読有。

劉楠、Relation among the Children's Value of the Self-employed father, Father's Nurturing Behaviors, and Adolescent's Academic Achievement: Focusing on the family of Self-employed of Shanxi Province in China, Applied Ethics: Security, Sustainability and Human Flourishing, 9, 2015, 81-93, 査読有。

劉楠、中国山西省における教育不平等生成メカニズム - 固定給有層と固定給無層の比較から、日中社会学研究、22、2014、30-40、査読有。

[学会発表](計8件)

劉楠、The Current Trends and Issues of Potential Nursery Teachers in Japan, 19th ARAHE Congress 2017, 2017年8月8日, National Olympic Memorial Youth Center(東京都・渋谷区)。

劉楠、青年期から成人期へ移行する父子関係、日本家政学会第36回家族関係学セミナー、2016年10月9日、尚絅学院大学(宮城県・名取市)。

劉楠、中国農村部から都市部へ人口の流出と「留守児童」問題、日本家政学会東北・北海道支部第60回研究発表会、2016年10月1日、カレッジプラザ明德館ビル2階(秋田県・秋田市)。

劉楠、現在中国における大学選択前までの教育投資 企業家と『事業単位』の父親の相違を中心に、日中社会学会第28回大会、2016年6月5日、長崎ブリックホ

ール3階(長崎県・長崎市)。
劉楠、事業主の父親の教育観念、国際ジェンダー学会2015年大会、2015年9月6日、東京女子大学(東京都・杉並区)。
田媛・劉楠、Relation among the Children's Value of the Self-employed father, Father's Parenting Behaviors, Adolescent's Academic Achievement: Focusing on the family of Self-employed of Shanxi Province in China, The 9th International Conference on Applied Ethics, 2014年11月1日, Hokkaido University(北海道・札幌市)。

劉楠、Relationship Among Fathers' Occupation, Fathers' Parenting Behaviors and Children's Academic Performance during Early Adolescence in Modern China, International Sociological Association "JS-70 Children's Agency through Daily Life Interactions" RC53 Sociology of Childhood, 2014年7月18日, Pacifico Yokohama(神奈川県・横浜市)。

劉楠、中国の地方都市における母親の『ベルトコンベア式上昇』教育志向 山西省の母親の養育行動を中心に、日中社会学会第26回大会、2014年6月8日、大同大学(愛知県・名古屋市)。

[図書](計1件)

石井クンツ昌子・坂本有芳編著、キャリア・デザインと子育て 首都圏女性の調査から、御茶の水学術事業会、2015、164頁(第3章第1節 劉楠 86-99頁)。

[産業財産権]

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
ホームページ等

<http://wahindo.com/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

劉楠 (LIU, Nan)

山形大学男女共同参画推進室・助教

研究者番号：00713744

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

陳 嬰嬰 (CHEN, Yingying)

呂 世辰 (LU, Shichen)

田 嫻 (TIAN, Yuan)

王 茜玲 (WANG, Xiling)

徐 琴 (XU, Qin)